

0625

第一一五八號

決裁指定

三年

決裁指定

三年

保存期限

大官房 主務局 秘書

了結 領受 出提 領受 發番

昭和 六年 六月 十九日	昭和 六年 七月 十七日	昭和 七年 六月 十六日	昭和 七年 六月 十六日	昭和 七年 六月 十六日
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

(裁決)行決 覽同後

長局 長局

長課 長課

人臣

主務局長 次官 政務次官

主務局長 次官 政務次官

主務局長 次官 政務次官

主務局長 次官 政務次官

主務局長 次官 政務次官

件名

南方開發金庫關係書類送附ノ件

受番

陸軍省第五三四号

起元(課)名

南軍

政務次官同付 決裁前 署名

決行(決裁)後 署名

陸軍

0626

決行止ハ綴

陸		軍	
 			
		審案 審記	

9290

決行上ハ船室便ニ送付
 主中ノ海

次官ヨリ南方軍總參謀長宛通牒案

「陸軍密」

南参三電第二〇六號電會ニ係ル首題ノ件左記ノ通り送附ス

左記

一、南方開發金庫法

陸軍密第二一〇二號 昭和七年六月十七日

南方開發金庫定款等（南方開發金庫法令案）

二、南方開發金庫ニ關スル大本營政府連絡會議決定

三、南方開發金庫ニ關スル大本營政府連絡會議決定ニ關スル諒解事項

四、南方開發金庫運營ニ關スル件

（第六委員會幹事會決定）

五、南方開發金庫支金庫設置ニ關スル件通牒

（陸軍密第四八七號）

六、物資蒐集擔當者等ノ融資ニ關スル件通牒

（陸軍密第一九一三號）

軍務

加

2-6290

通報先

五三四

秘電報

南参三電第二〇六號

次官宛 發信者南方軍總參謀長

南方開發金庫ニ関スル下令一括シ至急送付煩シ度

17.6.8.

日午前午後
二時五十分
著發

譯者

譯者

陸軍省
17.6.8
午後
主計課

361
軍務課

(終)

陸軍

31

8290

秘

南方開發金庫法令集

南方開發金庫

目次

一、南方開發金庫法……………	一頁
二、南方開發金庫法施行期日ノ件……………	九
三、南方開發金庫法施行令……………	一〇
四、南方開發金庫法施行規則……………	一六
五、大藏大臣命令書……………	一七
六、南方開發金庫定款……………	一九

一、南方開發金庫法（昭和十七年二月二十日公布） （法律第三十三號）

第一章 總 則

第一條 南方開發金庫ハ南方地域ニ於ケル資源ノ開發及利用ニ必要ナル資金ヲ供給シ併セテ通貨及金融ノ調整ヲ圖ルヲ目的トス

南方開發金庫ハ法人トス

第二條 南方開發金庫ハ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク

南方開發金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ必要ノ地ニ從タル事務所ヲ置クコトヲ得

第三條 南方開發金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ銀行其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ヲシテ業務ノ一部ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第四條 南方開發金庫ノ資本金ハ一億圓トス但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ得

第五條 政府ハ一億圓ヲ南方開發金庫ニ出資スベシ

前項ノ出資ハ國債證券ヲ交付シテ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

第六條 政府ハ其ノ持分ノ一部ヲ讓渡スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ讓渡ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 出資ノ第一回ノ拂込金額ハ出資金額ノ十分ノ一ヲ下ラザル額トシ第二回以後ノ出資ノ拂込ノ時期及金額ハ南方開發金庫主務大臣ノ認可ヲ受ケテ之ヲ定ム

第八條 南方開發金庫ハ定款ヲ以テ左ノ事項ヲ規定スベシ

- 一 目的
 - 二 名稱
 - 三 事務所ノ所在地
 - 四 資本金額及資産ニ關スル事項
 - 五 役員ニ關スル事項
 - 六 業務及其ノ執行ニ關スル事項
 - 七 債券ノ發行ニ關スル事項
 - 八 合計ニ關スル事項
 - 九 公告ノ方法
- 定款ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ
- 第九條 南方開發金庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス
前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ
- 第十條 南方開發金庫ニハ當分ノ内所得税、法人税及營業税ヲ課セズ
北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノハ當分ノ内南方開發金庫ノ事業ニ對シテハ地方税ヲ課スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ基キ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第十一條 南方開發金庫ニ付解散ヲ必要トスル事由發生シタル場合ニ於テ其ノ處置ニ關シテハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム
- 第十二條 南方開發金庫ニ非ザル者ハ南方開發金庫又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用フルコトヲ得ズ

第二章 職員

第十三條 南方開發金庫ニ役員トシテ總裁副總裁各一人、理事三人以上及監事二人以上ヲ置ク

第十四條 總裁ハ南方開發金庫ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副總裁ハ定款ノ定ムル所ニ依リ南方開發金庫ヲ代表シ總裁ヲ輔佐シテ南方開發金庫ノ業務ヲ掌理シ總裁事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ總裁缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ南方開發金庫ヲ代表シ總裁及副總裁ヲ輔佐シテ南方開發金庫ノ業務ヲ掌理シ總裁及副總裁共ニ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ總裁及副總裁共ニ缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

監事ハ南方開發金庫ノ業務ヲ監査ス

第十五條 總裁及副總裁ハ勅裁ヲ經テ政府之ヲ命ズ
理事及監事ハ主務大臣之ヲ命ズ

總裁、副總裁、理事及監事ノ任期ハ二年トス

第十六條 總裁、副總裁及理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ從タル事務所ノ業務ニ關シ一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有スル代理人ヲ選任スルコトヲ得

第十七條 總裁副總裁及理事ハ他ノ職業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 南方開發金庫ノ職員ハ之ヲ法令ニ依リ公務ニ從事スル職員ト看做ス

第三條ノ場合ニ於テ當該業務ニ從事スル銀行其ノ他命令ヲ以テ定ムル法人ノ職員ニ付亦前項ト同ジ前二項ノ職員ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三章 業務

第十九條 南方開發金庫ハ資源ノ開發及利用ノ爲必要ナル融資又ハ投資ヲ爲スノ外左ノ業務ヲ行フ

一 預リ金

二 地金銀ノ賣買

三 通貨ノ交換

四 爲替ノ賣買

南方開發金庫ハ前項ノ業務ニ附帶スル業務ヲ行フコトヲ得

第二十條 南方開發金庫ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ前條ノ業務ノ外南方開發金庫ノ目的達成上必要ナル業務ヲ行フコトヲ得

第四章 債券

第二十一條 南方開發金庫ハ拂込出資金額ノ十倍ヲ限リ債券ヲ發行スルコトヲ得

第二十二條 南方開發金庫ハ債券借換ノ爲一時前條ノ制限ニ依ラズ債券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ債券ヲ發行シタルトキハ發行後一月以内ニ其ノ發行額面金額ニ相當スル舊債券ヲ償還スベシ

第二十三條 南方開發金庫ニ於テ債券ヲ發行セントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第二十四條 政府ハ債券ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ヲ保證スルコトヲ得

第二十五條 債券ノ消滅時効ハ元本ニ在リテハ十五年、利息ニ在リテハ五年ヲ以テ完成ス

第二十六條 債券ノ所有者ハ南方開發金庫ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ排濟ヲ受クル

權利ヲ有ス

前項ノ規定ハ民法上ノ一般ノ先取特權ノ行使ヲ妨グルコトナシ

第二十七條 所得税法及有價證券移轉税法中國債以外ノ公債ニ關スル規定ハ債券ニ之ヲ準用ス

第二十八條 本章ニ規定スルモノヲ除クノ外債券ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五章 會 計

第二十九條 南方開發金庫ノ事業年度ハ四月ヨリ翌年三月迄トス

第三十條 南方開發金庫ハ設立ノ時及毎事業年度ノ初ニ於テ財産目錄、貸借對照表及損益計算書ヲ作成シ主務大臣ノ承認ヲ受クベシ

第六章 監督及補助

第三十一條 南方開發金庫ハ主務大臣之ヲ監督ス

第三十二條 南方開發金庫借入金ヲ爲サントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三十三條 南方開發金庫剩餘金ノ處分ヲ爲サントスルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三十四條 南方開發金庫ハ業務開始ノ際業務ノ方法ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ之ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキ亦同ジ

南方開發金庫ハ毎事業年度ノ初ニ於テ事業計畫及收支豫算ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ之ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキ亦同ジ

第三十五條 主務大臣ハ南方開發金庫ニ對シ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、検査ヲ爲シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十六條 役員ガ法令、定款若ハ主務大臣ノ命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ總裁及副總裁ニ付テハ政府、理事及監事ニ付テハ主務大臣之ヲ解任スルコトヲ得

第三十七條 政府ハ南方開發金庫ニ對シ第十九條第一項ニ規定スル融資又ハ投資ニ因リテ受ケタル損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ契約ハ之ニ基キ交付スベキ補償金ノ總額ガ帝國議會ノ協賛ヲ經タル金額ヲ超エザル範圍内ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第一項ノ損失ヲ決定スル基準ハ大藏大臣之ヲ定ム

第三十八條 前條第一項ノ損失及其ノ額ハ特別融資損失審査會之ヲ決定ス

第七章 罰 則

第三十九條 左ノ場合ニ於テハ南方開發金庫ノ總裁、副總裁、理事又ハ監事ヲ千圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二 本法ニ規定セザル業務ヲ行ヒタルトキ

三 第二十一條又ハ第二十二條第二項ノ規定ニ違反シ債券ノ發行ヲ爲シ又ハ償還ヲ爲サザルトキ

四 主務大臣ノ監督上ノ命令又ハ處分ニ違反シタルトキ

第四十條 左ノ場合ニ於テハ南方開發金庫ノ總裁、副總裁、理事又ハ監事ヲ五百圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ違反シ登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

二 第三十條ノ規定ニ依ル書類ヲ作成セザルトキ、其ノ書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ書類ニ付主務大臣ノ承認ヲ受ケザルトキ

第四十一條 第十二條ノ規定ニ違反シ南方開發金庫又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用ヒタル者ハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

附 則

第四十二條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十三條 政府ハ設立委員ヲ命ジ南方開發金庫ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム

第四十四條 設立委員ハ定款ヲ作成シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク出資ノ第一回拂込ヲ政府ニ稟請スベシ

第四十五條 出資ノ第一回ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク其ノ事務ヲ南方開發金庫總裁ニ引渡スベシ

總裁前項ノ事務ノ引渡ヲ受ケタルトキハ總裁、副總裁、理事及監事ノ全員ハ設立ノ登記ヲ爲スベシ

南方開發金庫ハ設立ノ登記ヲ爲スニ因リテ成立ス

第四十六條 南方開發金庫ノ初事業年度ハ第二十九條ノ規定ニ拘ラズ成立ノ日ヨリ昭和十八年三月迄トス

第四十七條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外南方開發金庫ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十八條 政府ハ南方開發金庫ニ對シ貸付ヲ爲スコトヲ得

前項ノ貸付ニ關スル歲入歳出ハ臨時軍事費特別會計ニ屬セシム

第四十九條 登録稅法中左ノ通改正ス

第十九條第七號中「庶民金庫」ノ上ニ「南方開發金庫」ヲ、「庶民金庫法」ノ上ニ「南方開發金庫

七

9890

法、レヲ、同條第十八號中「庶民金庫」ノ上ニ「南方開發金庫」ヲ加フ
第五十條 印紙稅法中左ノ通改正ス
第五條第六號ノ二ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ
六ノ二ノ二 南方開發金庫ノ發スル債券

八

4890

南方開發金庫法ハ昭和十七年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

二、南方開發金庫法施行期日ノ件

(昭和十七年二月二十八日公布
勅令 第二百十八號)

三、南方開發金庫法施行令

(昭和十七年三月七日公布
勅令第四百十八號)

102

第一章 登記

第一條 南方開發金庫ノ設立ハ總裁ガ設立委員ヨリ設立ニ關スル事務ノ引渡ヲ受ケタル日ヨリ
二週間内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス
設立ノ登記ニハ左ノ事項ヲ掲グルコトヲ要ス

一 目的

二 名稱

三 事務所

四 資本金額及拂込出資金額

五 總裁、副總裁、理事及監事ノ氏名及住所

六 副總裁又ハ理事ノ代表權ニ制限ヲ加ヘタルトキハ其ノ制限

七 公告ノ方法

第二條 南方開發金庫ノ成立後從タル事務所ヲ設ケタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テハ二週間
内ニ從タル事務所ヲ設ケタルコトヲ登記シ其ノ從タル事務所ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ前條第二
項ニ掲グル事項ヲ登記シ他ノ從タル事務所ノ所在地ニ於テハ同期間内ニ其ノ從タル事務所ヲ設ケタ
ルコトヲ登記スルコトヲ要ス
主タル事務所又ハ從タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル登記所ノ管轄區域内ニ於テ新ニ從タル事務所ヲ
設ケタルトキハ其ノ從タル事務所ヲ設ケタルコトヲ登記スルヲ以テ足ル

第三條 南方開發金庫が主たる事務所ヲ移轉シタルトキハ二週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

南方開發金庫が從タル事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ三週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ四週間内ニ第一條第三項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ從タル事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヲ以テ足ル

第四條 第一條第二項ニ掲グル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキハ主たる事務所ノ所在地ニ於テハ二週間從タル事務所ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五條 南方開發金庫法第十六條ノ代理人ヲ選任シタルトキハ二週間内ニ之ヲ置キタル事務所ノ所在地ニ於テ代理人ノ氏名及住所、代理人ヲ置キタル事務所並ニ代理人ノ代理權ニ制限ヲ加ヘタルトキハ其ノ制限ヲ登記スルコトヲ要ス登記シタル事項ノ變更及代理人ノ代理權ノ消滅ニ付亦同シ

第六條 南方開發金庫が債券ヲ發行シタル場合ニ於テ第二十一條第一項ノ拂込アリタルトキ又ハ第二十四條ノ賣出期間満了シタルトキハ一月内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ債券ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス前項ノ登記ニハ第十八條第二項第二號乃至第七號ニ掲グル事項ヲ掲グルコトヲ要ス

第四條ノ規定ハ第一項ノ登記ニ之ヲ準用ス但シ同條中ニ二週間又ハ三週間トアルハ一月トス

第七條 登記スベキ事項ニシテ大藏大臣ノ認可ヲ要スルモノハ其ノ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第八條 登記シタル事項ハ裁判所ニ於テ遲滞ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

第九條 南方開發金庫ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

各登記所ニ南方開發金庫登記簿ヲ備フ

第十條 設立ノ登記ヲ除クノ外本令ニ依ル登記ハ總裁ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第十一條 設立ノ登記ノ申請書ニハ定款、出資ノ第一回ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面並ニ總裁、

副總裁、理事及監事ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第十二條 南方開發金庫法第十六條ノ代理人ノ選任ノ登記ノ申請書ニハ代理人ノ選任ヲ證スル書面及代理人ノ代理權ニ制限ヲ加ヘタルトキハ其ノ制限ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第十三條 債券ノ登記ノ申請書ニハ債券申込證其ノ他債券ノ引受ヲ證スル書面及各債券ニ付第二十一條第一項ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面又ハ第二十四條ノ賣出期間内ニ於テ賣上ゲタル債券ノ總額ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第十四條 事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其ノ他第一條第二項ニ掲グル事項ノ變更ノ登記ノ申請書ニハ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第十五條 前條ノ規定ハ第五條ノ規定ニ依リ登記シタル事項ノ變更及南方開發金庫法第十六條ノ代理人ノ代理權ノ消滅並ニ債券ニ關スル登記事項ノ變更ノ登記ニ之ヲ準用ス

第十六條 非訟事件手續法第四百二十二條乃至第五百十一條ノ六及第五百十四條乃至第五百十七條ノ規定ハ本令ニ依ル登記ニ之ヲ準用ス

第二章 債 券

第十七條 南方開發金庫ノ發行スル債券ハ無記名利札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名式ト爲スコトヲ得

債券ハ割引ノ方法ヲ以テ之ヲ發行スルコトヲ得

第十八條 債券ノ募集ニ應ゼンドスル者ハ債券申込證一通ニ其ノ引受クベキ債券ノ數及住所ヲ記載シ之ニ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

債券申込證ハ總裁之ヲ作成シ之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 南方開發金庫ノ名稱
- 二 債券ノ名稱
- 三 債券ノ總額
- 四 各債券ノ金額
- 五 債券ノ利率
- 六 債券償還ノ方法及期限
- 七 利息支拂ノ方法及期限
- 八 債券發行ノ償額又ハ其ノ最低償額
- 九 南方開發金庫ノ資本金額及拂込出資金額
- 十 舊債券借換ノ爲南方開發金庫法第二十一條ノ制限ニ依ラズ債券ヲ發行スルトキハ其ノ旨
- 十一 前ニ債券ヲ發行シタルトキハ其ノ償還ヲ了ヘザル總額
- 債券發行ノ最低償額ヲ定メタル場合ニ於テハ應募者ハ債券申込證ニ應募償額ヲ記載スルコトヲ要ス
- 第十九條 前條ノ規定ハ契約ニ依リ債券ノ總額ヲ引受クル場合ニハ之ヲ適用セズ債券募集ノ委託ヲ受ケタル會社ガ自ラ債券ノ一部ヲ引受クル場合ニ於テ其ノ一部ニ付亦同シ
- 第二十條 債券ノ應募總額ガ債券申込證ニ記載シタル債券ノ總額ニ達セザルトキト雖モ債券ヲ成立セシムル旨ヲ債券申込證ニ記載シタルトキハ其ノ應募總額ヲ以テ債券ノ總額トス
- 第二十一條 債券ノ募集ガ完了シタルトキハ總裁ハ遲滞ナク各債券ニ付其ノ全額ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ス
- 債券ハ全額ノ拂込アリタル後ニ非ザレバ之ガ證券ノ發行ヲ爲スコトヲ得ズ
- 第二十二條 債券募集ノ委託ヲ受ケタル會社ハ自己ノ名ヲ以テ南方開發金庫ノ爲ニ第十八條第二項及

前條第一項ニ定ムル行爲ヲ爲スコトヲ得

債券募集ノ委託ヲ受ケタル會社ニ以上アルトキハ前項ノ行爲ハ共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條 債券ハ賣出ノ方法ヲ以テ之ヲ發行スルコトヲ得

第二十四條 賣出ノ方法ヲ以テ債券ヲ發行セントスルトキハ總裁ハ左ノ事項ヲ公告スルコトヲ要ス

一 賣出期間

二 債券賣出ノ價額

三 第十八條第二項第一號乃至第七號及第九號乃至第十一號ニ掲グル事項

四 第二十五條ニ規定スル事項

第二十五條 賣出期間内ニ賣上ゲタル債券ノ總額ガ前條ノ規定ニ依リ公告シタル債券ノ總額ニ達セザルトキハ其ノ賣上總額ヲ以テ債券ノ總額トス

第二十六條 債券ニハ第十八條第二項第一號乃至第七號ニ掲グル事項及證券番號ヲ記載シ總裁之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

賣出ノ方法ヲ以テ發行スル債券ニハ第十八條第二項第三號ニ掲グル事項ヲ記載スルコトヲ要セズ

第二十七條 記名式債券ノ移轉ハ取得者ノ氏名及住所ヲ債券原簿ニ記載シ且其ノ氏名ヲ證券ニ記載スルニ非ザンバ之ヲ以テ南方開發金庫其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

記名式債券ヲ以テ質權ノ目的ト爲シタルトキハ質權者ノ氏名及住所ヲ債券原簿ニ記載スルニ非ザンバ之ヲ以テ南方開發金庫其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第二十八條 無記名式債券ヲ償還スル場合ニ於テ欠缺セル利札アルトキハ之ニ相當スル金額ヲ償還額ヨリ控除ス但シ既ニ支拂期ノ到來シタル利札ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ利札ノ所持人ハ何時ニテモ之ト引換ニ控除金額ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求權ハ五年ヲ経過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第二十九條 南方開發金庫ハ主タル事務所ニ債券原簿ヲ備置クコトヲ要ス

債券原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 債券ノ數及番號

二 證券發行ノ年月日

三 第十八條第二項第二號乃至第七號ニ掲グル事項

債券ヲ記名式ト爲シタルトキハ前項ニ掲グル事項ノ外其ノ債券ノ所有者ノ氏名住所竝ニ取得ノ年月

日ヲ債券原簿ニ記載スルコトヲ要ス

南方開發金庫ノ債權者ハ業務時間内何時ニテモ債券原簿ノ閲覧ヲ求ムルコトヲ得

第三十條 記名式債券ノ所有者ニ對スル通知又ハ催告ハ債券原簿ニ記載シタル其ノ者ノ住所ニ、其ノ

者ガ別ニ其ノ住所ヲ南方開發金庫ニ通知シタルトキハ其ノ住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スベカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

前二項ノ規定ハ債券ノ應募者又ハ權利者ニ對スル通知及催告ニ之ヲ準用ス

無記名式債券ノ所有者ニ對スル通知又ハ催告ハ公告ノ方法ニ依ルコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

四、南方開發金庫法施行規則

(昭和十七年三月七日
大藏省令第十二號)

南方開發金庫法第十八條第三項ノ規定ニ依リ同條第一項及第二項ノ法令ニ依リ公務ニ従事スル職員ト
看做サルル職員ノ範圍左ノ通定ム

- 一 南方開發金庫ノ役員
- 二 南方開發金庫ノ使用人但シ守衛、小使其ノ他勞働ニ従事スル者ヲ除ク
- 三 南方開發金庫法第三條ノ規定ニ依リ南方開發金庫ノ業務ノ一部ヲ取扱フ法人ノ役員ニシテ當該
業務ニ従事スル者
- 四 前號ノ法人ノ使用人ニシテ南方開發金庫ノ業務ニ従事スル者但シ守衛小使其ノ他勞働ニ従事ス
ル者ヲ除ク

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

五、大藏大臣命令書（昭和十七年四月六日）

第一條 南方開發金庫ハ左ニ掲グル規程ヲ制定セントスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受クベシ之ヲ改廢セントスルトキ亦同ジ

一、職制

二 役員ノ報酬及手当並ニ社員ノ給與ニ關スル規程
三 營業其ノ他ニ關スル重要ナル規程

前項ノ認可申請ニハ其ノ事由及實施年月日ヲ記載スベシ

第二條 南方開發金庫ハ左ノ場合ニ於テハ大藏大臣ノ認可ヲ受クベシ

一 支金庫又ハ出張所ヲ設置、廢止又ハ移轉セントスルトキ

二 銀行其ノ他大藏大臣ノ定ムル法人ヲシテ業務ノ一部ヲ取扱ハシメントスルトキ

三 資本ノ増加ヲ爲サントスルトキ

四 第二回以後ノ出資ノ拂込ノ時期及金額ヲ定メントスルトキ

五 役員ノ報酬、手當若ハ退職慰勞金ノ額ヲ決定シ又ハ變更セントスルトキ

六 借入金ヲ爲サントスルトキ

七 業務ノ方法ヲ定メ又ハ之ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキ

八 毎事業年度ノ事業計畫及收支豫算ヲ定メ又ハ之ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキ

九 債券ノ發行ヲ爲サントスルトキ

十 剩餘金ノ處分ヲ爲サントスルトキ

十一 定款ノ變更ヲ爲サントスルトキ

十二 南方開發金庫法第二十條ノ規定ニ依リ南方開發金庫ノ目的達成上必要ナル業務ヲ行ハントス
ルトキ

第三條 總裁、副總裁及理事他ノ職業ニ從事セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ大藏大臣ノ認可ヲ受ク
ベシ

第四條 南方開發金庫ハ設立ノ時及毎事業年度ノ初ニ於テ財産目錄、貸借對照表及損益計算書ヲ作成
シ大藏大臣ノ承認ヲ受クベシ

第五條 南方開發金庫ハ其ノ事業概況、貸借對照表及營業收支狀況ヲ四半期毎ニ一括シテ翌月二十日
迄ニ之ヲ大藏大臣ニ提出スベシ

第六條 南方開發金庫ハ左ノ場合ニ於テハ遲滞ナク大藏大臣ニ報告スベシ

一 第一條第一項ニ掲ゲザル規程ヲ制定シ又ハ之ヲ改廢シタルトキ

二 副總裁及理事ノ業務分掌ヲ定メ又ハ之ヲ變更シタルトキ

三 登記ヲ爲シタルトキ

四 前各號ノ外重要ト認ムル事項又ハ重大ナル事故ノ生ジタルトキ

六南方開發金庫定款

第一章 總 則

第一條 當金庫ハ南方開發金庫法ニ依リテ設立シ南方開發金庫ト稱ス

第二條 當金庫ハ南方地域ニ於ケル資源ノ開發及利用ニ必要ナル資金ヲ供給シ併セテ通貨及金融ノ調整ヲ圖ルヲ目的トス

第三條 當金庫ハ主タル事務所ヲ東京市ニ置キ之ヲ本金庫ト稱ス

當金庫ハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ必要ノ地ニ從タル事務所ヲ置キ之ヲ支金庫又ハ出張所ト稱ス

第四條 當金庫ハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ銀行共ノ他大藏大臣ノ定ムル法人ヲシテ業務ノ一部ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第五條 當金庫ノ公告ハ官報ニ掲載シ且從タル事務所ニ揭示シテ之ヲ爲ス

第二章 資本金

第六條 當金庫ノ資本金ハ一億圓トス

第七條 政府ハ一億圓ヲ當金庫ニ出資スルモノトス

前項ノ出資ハ國債證券ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第八條 政府出資ノ第一回ノ拂込金額ハ一千萬八十圓トシ第二回以後ノ出資ノ拂込ノ時期及金額ハ當金庫大藏大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムルモノトス

第三章 職 員

第九條 當金庫ニ役員トシテ總裁副總裁各一人、理事三人以上及監事二人以上ヲ置ク

第十條 總裁ハ當金庫ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副總裁ハ總裁ノ定ムル所ニ依リ當金庫ヲ代表シ總裁ヲ輔佐シテ當金庫ノ業務ヲ掌理シ總裁事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ總裁缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ總裁ノ定ムル所ニ依リ當金庫ヲ代表シ總裁及副總裁ヲ輔佐シテ當金庫ノ業務ヲ掌理シ總裁ノ豫メ定メタル順位ニ依リ總裁及副總裁共ニ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ總裁及副總裁共ニ缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

總裁前二項ニ依リ副總裁又ハ理事ノ代表權ニ制限ヲ加ヘタルトキハ之ヲ公告ス

監事ハ當金庫ノ業務ヲ監査ス

第十一條 總裁及副總裁ハ勅裁ヲ經テ政府之ヲ命ジ理事及監事ハ大藏大臣之ヲ命ズルモノトス

總裁、副總裁、理事及監事ノ任期ハ二年トス

第十二條 總裁、副總裁、理事及監事ノ報酬及手當ノ額ハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ總裁之ヲ定ム

第十三條 總裁、副總裁及理事ハ從タル事務所ノ業務ニ關シ必要ト認ムルトキハ其ノ權限ノ範圍

内ニ於テ一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有スル代理人（支配人）ヲ選任スルコトヲ得

第十四條 總裁、副總裁及理事ハ他ノ職業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四章 業務及其ノ執行

第十五條 當金庫ハ資源ノ開發及利用ノ爲必要ナル融資又ハ投資ヲ爲スノ外左ノ業務ヲ行フ

一、預リ金

二、地金銀ノ賣買

三、通貨ノ交換

四、爲替ノ賣買

當金庫ハ前項ノ業務ニ附帶スル業務ヲ行フコトヲ得

第十六條 當金庫ハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ前條ノ業務ノ外當金庫ノ目的達成上必要ナル業務ヲ行フコトヲ得

第十七條 當金庫ハ業務開始ノ際業務ノ方法ヲ定メ大藏大臣ノ認可ヲ受クルモノトス之ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキ亦同シ

當金庫ハ毎事業年度ノ初ニ於テ事業計畫及收支豫算ヲ定メ大藏大臣ノ認可ヲ受クルモノトス之ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキ亦同シ

第十八條 業務ノ執行ニ關スル諸規程ハ總裁之ヲ定ム

第五章 債券及借入金

第十九條 當金庫ハ拂込出資金額ノ十倍ヲ限リ債券ヲ發行スルコトヲ得

第二十條 當金庫ハ債券信換ノ爲一時前條ノ制限ニ依ラズ債券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ債券ヲ發行シタルトキハ發行後一月以内ニ其ノ發行額面金額ニ相當スル舊債券ヲ償還スルモノトス

第二十一條 當金庫債券ヲ發行セントスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受クルモノトス

第二十二條 債券ハ無記名利札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名式ト爲スコトヲ得

債券ハ割引ノ方法ヲ以テ之ヲ發行スルコトヲ得

第二十三條

債券ヲ償還スル場合ニ於テ欠缺セル利札アルトキハ之ニ相當スル金額ヲ償還額ヨリ控除ス但シ既ニ支拂期ノ到來シタル利札ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ利札ノ所持人ノ請求アリタルトキハ之ト引換ニ控除金額ノ支拂ヲ爲スモツトス

第二十四條

債券ハ賣出ノ方法ヲ以テ之ヲ發行スルコトヲ得

第二十五條

賣出ノ方法ニ依リ債券ヲ發行セントスルトキハ豫メ必要ナル事項ヲ公告ス

第二十六條

無記名式債券ヲ記名式ト爲シ又ハ記名式債券ヲ無記名式ト爲サントスルトキハ其ノ請求書ニ債券ヲ添ヘ當金庫ニ提出スルコトヲ要ス

第二十七條

記名式債券ノ名義書換ヲ爲サントスルトキハ譲渡人及譲受人雙方ノ署名又ハ記名捺印シタル請求書ニ債券ヲ添ヘ當金庫ニ提出スルコトヲ要ス

相續、遺贈、競賣等ニ因リ記名式債券ヲ取得シタル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依ルコト能ハザルトキハ其ノ取得ヲ證スル書面ヲ添ヘ名義書換ヲ當金庫ニ請求スルコトヲ要ス

第二十八條 無記名式債券又ハ其ノ利札ヲ滅失若ハ紛失シタル場合又ハ之ヲ盜取セラレタル場合ニ於テハ公示催告手續ニ依リ除權判決ヲ受ケタル後ニ非ザレバ其ノ代債券又ハ代利札ヲ交付セズ

第二十九條

記名式債券災害ニ因リ滅失シタルトキハ所有者ハ其ノ事由、券面金額及番號ヲ詳記シ、二人以上ノ保證人ヲ立テ當金庫ニ届出デ代債券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ當金庫ハ其ノ證據明カナル場合ニ限り代債券ヲ交付ス其ノ證據明カナラザル場合ニ付テハ紛失ノ例ニ依ル

第三十條 記名式債券ヲ紛失シタルトキ又ハ之ヲ盜取セラレタルトキハ所有者ハ其ノ事由、券面金額及番號ヲ詳記シ當金庫ニ届出デ代債券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ當金庫ハ請求者ノ費用ヲ以テ其ノ旨公告シ一月以内ニ其ノ債券ヲ發見シタル旨ノ届出ナキトキハ二人以上ノ保證人ヲ立テシメ代債券ヲ交付ス

第三十一條 記名式債券ノ滅失、紛失又ハ盜取ノ届出ニ關シ異議ノ申立ヲ爲ス者アルトキハ當金庫ハ管轄裁判所ノ判決確定後ニ非ザレバ代債券ヲ交付セズ

第三十二條 債券ヲ汚染又ハ毀損シタルトキハ所有者ハ其ノ事由ヲ詳記シ其ノ債券ヲ添へ當金庫ニ提出シ代債券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ當金庫ハ其ノ債券ヲ審査シ真正ナリト認ムルモノニ限り代債券ヲ交付ス其ノ真正ナルコトヲ鑑別シ難キモノニ付テハ紛失ノ例ニ依ル

第三十三條 記名式債券ヲ無記名式ト爲シ若ハ無記名式債券ヲ記名式ト爲ス場合又ハ債券若ハ其ノ利札ヲ滅失、紛失若ハ毀損シタル等ノ爲代債券若ハ代利札ヲ交付スル場合ニ於テハ請求者ヨリ一通ニ付三十錢ノ手数料ヲ徴收ス

記名式債券ノ名義書換ヲ爲ス場合ニ於テハ請求者ヨリ債券一通ニ付十五錢ノ手数料ヲ徴收ス

第三十四條 前七條ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ總裁ハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ特別ノ規程ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規程ハ之ヲ公告ス

第三十五條 當金庫借入金ヲ爲サントスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受クルモノトス

第六章 會計

第三十六條 當金庫ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第三十七條 當金庫ハ設立ノ時及毎事業年度ノ初ニ於テ財産目錄、貸借對照表及損益計算書ヲ作成シ大藏大臣ノ承認ヲ受クルモノトス

第三十八條 當金庫剩餘金ノ處分ヲ爲サントスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受クルモノトス

第七章 定款ノ變更

第三十九條 本定款ヲ變更セントスルトキハ總裁ヨリ大藏大臣ニ認可ヲ申請シ其ノ認可ヲ受クルモノトス

附 則

第四十條 當金庫ノ初事業年度ハ第三十六條ノ規定ニ拘ラズ成立ノ日ヨリ昭和十八年三月三十一日迄トス

南方開發金庫ニ關スル大本營政府連絡會議決定（案）

南方開發金庫ノ主務大臣ハ之ヲ大藏大臣ト爲スモ南方地域ニ於ケル軍政施行ノ現状ニ顧ミ軍政施行中ノ期間ハ南方開發金庫ノ現地ニ於ケル業務ニ關シテハ左記ニ依リ之ヲ處理スルモノトス

記

一、南方開發金庫ノ南方地域ニ於ケル業務ノ運用竝ニ監督ノ根本方針ニ付テハ大本營政府連絡會議ニ於テ之ヲ決定スルモノトシ右根本方針ニ基ク細部事項ハ第六委員會ニ於テ審議シ之ヲ實行ニ移ス如ク措置スルモノトス

二、前號ニ基ク事項ハ之ヲ陸海軍中央部ヨリ夫々現地軍ニ對シ指示スルモノトス（本金庫ニ對スル通達ハ主務大臣ニ於テ之ヲ行フ）右ノ他本金庫ト支金庫及出張所ノ連絡ニツキ重要ナル事項ハ軍ヲ經由スルモノトス

三、南方開發金庫ノ支金庫及出張所ノ指揮監督ハ當該地域陸軍又ハ海軍ノ司令官之ヲ行フモノトス
右支金庫及出張所ノ主要職員ハ軍政施行期間中軍屬トス

南方開發金庫ニ關スル大本營政府連絡
會議決定ニ關スル瞭解事項

一 軍政施行期間中ニ於ケル現地軍司令官ノ行フ指揮監督ハ本文ニ依リ中央ニ於テ能フ限り細部ニ亘リ決定セラルル所ニ從ヒ行ハルルヤウ措置スルモノトス

ニ 本文ニニ依ル本金庫ト支金庫及出張所トノ連絡方法ニ關スル事項ハ南方開發金庫ノ法人トシテノ内部關係ニ於ケル總裁ノ責任ヲ排除スルモノニ非サルモノトス

三 軍政施行期間ト雖モ諸般ノ事情之ヲ許スニ至レハ軍ノ行フ監督ハ軍政施行上ノ一般ノ監督ニ復歸スルモノトス

昭和十七年三月十八日

大蔵次官

谷口 恒二

印

陸軍次官

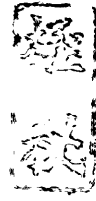
木村 兵太郎

印

海軍次官

澤本 頼雄

印



南方開發金庫運營ニ關スル件（案）

第六委員會幹事會
昭和二十一年三月一日

南方甲地域ニ於ケル經濟再建及開發ヲ可及的速カニ實現セシメ且本邦
經濟ニ對スル南方經濟ノ影響ニ善處スル爲南方開發金庫ノ運營ニ付テ
ハ差當リ左記ニ依リ指置スルモノトス

第一 資金調達

一 臨時軍事費特別會計ヨリノ借入

（一）臨時軍事費特別會計ヨリノ資金借入額ハ別ニ定ムル開發金庫
ノ融資計畫ニ基キ地域別時期別ニ決定スルモノトス

（二）右ノ借入ハ現地ニ於テ各支金庫又ハ出張所ノ申請ニ依リ現地
通貨又ハ外貨軍票ヲ以テ實行セラルルモノトス

二 預リ金ノ受入

（一）内地ニ於テハ原則トシテ預リ金ノ受入ヲ行ハサルモノトス

（二）現地ニ於ケル預リ金ノ受入先ハ原則トシテ金融機關及現地公
共團體等トシ尙必要ニ依リ一般顧客ヨリノ預リ金受入ヲ考慮ス

ルモノトス

三 現地中央銀行等よりノ借入

支金庫又ハ出張所ノ現地中央銀行等よりノ借入ニ付テハ主務大臣ノ認可ヲ要スル時宜ニ依リ成ルヘク包括的ニ認可ヲ與ヘ置クモノトス

四 債券ノ發行

内地ニ於ケル債券ノ發行ハ適當リ之ヲ行ハサルモノトス

第二 融資

一 金庫ノ融資業務ノ基準トシテ時期別及使途別ノ區分ニ依ル融資

計畫ヲ樹立スルモノトス

(註) 使途別區分ハ概テ開發復舊資金ト物資買付資金トニ區分

ノ上前者ニ付テハ企業擔當者別、後者ニ付テハ品目別ニ細

分スルコトトシ倘若干ノ豫備金ヲ計上ス

二 融資計畫ハ中央ニ於テ決定スルモノトス

ソ上動者ニ付テハ企業經營者別、後者ニ付テハ最良則ニ細
分スルコトトシ、前者ノ準備金ヲ計上ス

六 融資計畫ハ中央ニ於テ決定スルモノトス

七 融資ハ圓滑迅速ヲ旨トシ、原則トシテ現地ニ於テ之ヲ行フモノト
ス

但シ開發擔當者ノ本邦ニ於ケル設備資材調達ノ爲必要アル場合ハ
本邦ニ於ケル融資ヲ爲スモノトス

(註)

現地ニ於ケル所要資金中、金庫ノ直接融資スルモノト一般金融
機關ノ融資スルモノトノ分野ヲ一應概定シ置クモノトス

貨物資質付資金ニ關シテハ、可成一般金融機關ヲ利用セシムル
モ要スレハ直接融資ヲ行フモノトス

八 融資ノ條件ハ左ノ通りトス

一 利率及償還期限ノ基準ハ地域別貸付種類別ニ中央ニ於テ決定
スルコト

備考

曰 確保ニ付テハ状況ニ依リ適宜措置スルコト

マ 南方開發金庫ハ日本銀行代理店トシテ國庫業務ヲ取扱フモノト
ス

ニ 現地ノ必要ニ應ジ施設營運ニ關スル事務ヲ受託スルモノトス

ニ 南方開發金庫ヨリ事業設備資金ノ融資ヲ受ケタルモノカ現地週
資費値ノ下落ニ伴ヒ不當ニ利得スルコトヲ防止スル爲所要ノ措置
ヲ講スルモノトス

四 本件ニ關クル事項ニ關スル運営ノ細目ニ付テハ主務官廳ニ於テ
必要ニ應ジ陸海軍及金庫院外協議ノ上之ヲ決定スルモノトス

南方開發金庫支金庫設置ニ關スル件

次官ヨリ南方軍總參謀長、陸軍國參謀長、海軍國參謀長、高島國參謀長、
治集國參謀長、林集國參謀長宛電報

陸軍密電第四八七號

昭和拾七年五月拾九日

南方開發金庫支金庫ヲ左記ニ依リ開設スルコトニ定メラレタルニ付
承知相成テ通牒ス

支金庫ノ業務ニ關シテハ陸軍密第一二二八號通牒ノ南方開發金庫
ニ關スル大本營政府連絡會議決定ニ基キ處理相成度

左記

一 開設支金庫

1. マニラ
 2. パタピヤ
 3. 昭南南
 4. ランゲーン
- 右支金庫中マニラ、パタピヤ及昭南市ハ獨立支金庫ヲ設置シラン

グイン支金庫ハ遂當リ正金銀行支店ヲシテ業務ヲ擔任セシムルモ
トス

ニ支金庫委員ハ連絡會議決定第三號ニ依リ支金庫長及參事ハ正金ニ
於テ之ニ準スルモノヘシ各軍ニ於テ事務ヲ囑託シ取屬トナスモノ
トス

茲支金庫員ハ本月末内地出發赴任セシムルヲ以テ業務開始ハ六月末
ト豫定シアリ

同支金庫ノ店舗等ハ軍ニ於テ管理中ナル建築物中適當ナルモノヲ充
當使用セシムル如クセラレ度

又パタビヤ支金庫ト駐銀行等トノ業務調整ニ就テハ追ツテ指示ス
ルモ差當リ支金庫ハ開發資金供給及日銀代理店業務ニ限定セラレ
度

通電先 岡

富、渡、治、林（參考）

陸軍省第一六一三號

物資蒐集振當者等ノ融資ニ關スル件通牒

昭和十七年二月三日

陸軍次官 木村 兵太郎

南方軍總參謀長、實業園參謀長
林榮國參謀長、渡邊國參謀長 殿
北村才守衛軍參謀長

南方軍總參謀長ニ於テ本邦向輸入物資蒐集振當者等ノ所要資金ノ融
資ニ就テハ南方開發金庫ノ業務開始ニ至ルマデ並當リ別紙第一南
方地區經濟政策ノ融資ニ關スル件及別紙第二臨時軍事費ヨリ南方
開發金庫ヘノ貸付ニ關スル重要事項ニ依リ處理相成座

陸軍

運轉部有製造部、資材部、検査部、保管部、運送部、倉庫部、
 資材部、製造部、資材部、資材部、資材部、資材部、資材部、

運轉部、資材部、資材部、資材部、資材部、資材部、資材部、

南方地區重要業者等ノ融資ニ關スル件

南方重要資源交易機關等ノ六月分以降所要資金及農林水産業現地復興者ノ所要資金ハ茲當リ左記ニ依リ融資ス

左記

- 一 資金需要者及資金額別紙ノ通り
- 二 資金融資ハ原則トシテ正金銀行及台灣銀行ヨリナスモノトス
- 三 銀行ハ業者ニ對シ當座貸越ヲナスモノトシ貸付資金ハ自己資金ノ外南方開發金庫ヨリノ借入金（契約ハ内地ニ於テ締結シ資金ノ受授ノ場所及方法ニ關シ必要ナル契約ヲナスモノトス）並ニ押收通貨ノ預金ニ依ルモノトス
- 四 南方開發金庫ノ前項ニ依ル貸出資金ハ臨時軍需費特別會計ヨリ借入ニ依ルモノトス
- 五 契約ハ内地ニ於テ締結シ資金ノ授受ノ場所及方法ニ關シ必要ナルモノトス

ル契約ヲナスモノトス

臨時軍務費特別會計ヨリ南方開發金庫ニ對スル貸出ノ利息ハ年三分五厘、南方開發金庫ヨリ銀行ニ對スル貸出ノ利息ハ年六分、銀行ヨリ業者ニ對スル貸出ノ利息ハ年六分トシ別ニ南方開發金庫ヨリ銀行ニ對シ手数料年一分五厘ヲ支拂フモノトス（本件利息ハ今限限リトス）

貸付銀行ノ分擔ヲ左ノ如ク決定ス

上 比 律 實 賣 銀

其ノ他ノ地區 正 金

貸出ハ現地ニ於テ蒐荷ノ實況ニ應ジ逐次貸付ヲナスモノトシ之カ金額及時期ニ就テハ現地軍、銀行及業者ニ於テ緊密ナル連絡ノ上實施スルモノトス

銀行ノ業者ニ對スル貸付ノ南方開發金庫ヘノ附替リニ就テハ原則トシテ之ヲ行ハサルモ特殊事情アルモノニ就テハ協議ノ上實施スルモノトス

陸軍

8990

[illegible]

陸軍

或

[illegible]

四月下旬現地に渡り、シメツル農林
水産業者、並に、一少、以て所要資金

比 第 實

マニラ日本漁業組合

貳 萬 圓 (マニラ)

馬 本

本國產業公司

參 萬 圓 (馬 本)

シ ャ 本

南洋興業株式會社

壹 萬 圓 (シヤ本)

大日本製糖株式會社

拾 萬 圓 (大日本)

臺灣拓殖株式會社

壹 萬 圓 (臺灣)

本國產業公司

壹 萬 圓 (本國)

其 他 事

陸 軍

臺灣銀行

資本 壹千萬元

實收 壹千萬元

臺灣銀行

資本 壹千萬元

資本 壹千萬元

實收 壹千萬元

附

實收 壹千萬元

臨時軍事費ヨリ南方開發金庫へ
ノ貸付ニ關スル暫定處理要領

南方甲地區ニ於ケル物資蒐集業者等ノ所要資金ハ現地正金銀行及臺灣銀行ヲシテ融資セシムルモノトシ兩銀行ノ資金ハ南方開發金庫ヨリノ貸付ニ依ル
南方開發金庫ニ對シテハ臨時軍事費ヨリ貸付ニ依ルモノトシ其ノ要領ハ左記ニ依ル

左 記

一 貸付契約

臨時軍事費ヨリ南方開發金庫へノ貸付契約ハ陸軍大臣ト南方開發金庫總裁トノ間ニ締結スルモノトシ其ノ契約形式ハ附表第一借用證ニ依ル

二 南方開發金庫ノ現金受領委任

南方開發金庫ハ現地ニ於テ現金受領ノ爲メ現地正金銀行及臺灣銀

行ニ對シ軍出納官吏ハ高、林、後及治各軍出納官吏以下同シ）ヨリノ現金受領ノ委任ヲナスモノトシ附表第二ノ委任狀ヲ軍出納官吏ニ提出スルモノトス

三、現金受領

本契約ニ依ル貸付金ハ現地ニ於テ軍出納官吏ヨリ南方開發金庫ノ代運者タル正金銀行及臺灣銀行ニ對シ軍票若クハ現地通貨ヲ以テ交付スルモノトス

四、交付金額並ニ時期

軍出納官吏ハ銀行ヨリ提出セル現金受領委任狀ノ總金額ノ範圍内ニ於テ逐次銀行ノ要求セル時期ニ於テ所要額ヲ交付スルモノトス
右交付ニ當リテハ軍政部關係者ト緊密ニ連絡シ資金需要ト物資蒐集計畫等トノ關係ヲ密シ不意ノ資金需要ニ應セサル如ク注意スルモノトス

五、臨時軍票費出納整理

軍出納官吏ハ現金交付ニ當リ借受銀行ヨリ受領證ヲ徴シ臨時軍事費南方開發金庫貸付金（目）ヨリ拂出整理スルモノトス

六 貸付金ノ回收及利子ノ徴收

南方開發金庫（又ハ代理者）ヨリ貸付金ノ返納及貸付金利子ノ納入アリタル場合ニハ軍資金歳入雜收入ノ各相當箇ニ收納ノ手續ヲナスモノトス

七 報 告

軍經理部長ハ貸付及回收並利子受入ヲ實施シタルトキハ其ノ都度金額、月目等所要事項ヲ陸軍省逕理局長ニ通報スルモノトス

備 用 金 庫

一 軍用手票金、、、、ベソ也

一 軍用手票金、、、、海峽也

一 軍用手票金、、、、ギルダ也

右ハ何レモ新組合ニヨリ一部現地通貨ヲ以テ交付セラル、モ可

右金額ヲ取戻トシテ今般臨時軍事費特別會計ヨリ左記條件ヲ以テ借

用仕候前而借入條件ヲ堅ク遵守ノ上元利金ハ期日迄ニ相違無ク支拂

可致候也

記

一 借入金ノ使途

南方地方ニ於ケル物資買付資金融通資金トシテ
横濱正金銀行又ハ株式会社臺灣銀行ニ轉貸

一 利 息

年三分五厘ノ割合ニヨリ元金全部償還ノ際ニ取
返メ支拂フモノトス

一 期 限

昭和十七年三月三十一日
定期限満ト雖モ全部又ハ一部ノ返済ヲ爲ス事ヲ

一、借入金受渡時期 及利息起算日	本借入金ハ必要ニ應シ分割借受タルモノトシ利 惠起算日ハ資金ノ交付ヲ受ケタル日トス
一、借入金ノ受渡	分任資金前渡官吏ノ所在地ニ於テ該官吏ヨリ交 付ヲ受ケルモノトス
一、借入金元利金 ノ支拂	分任收入官吏ノ所在地ニ於テ該官吏ニ納付スル モノトス
昭和 年	月 日
陸軍大臣 東 條 英 機 殿	
南方開發金庫	
總 裁 佐々木 謙一郎	

委任状

ハ正金銀行ハタビヤ支店ニ支那人某ヲ代理人トシテ軍用手票〇〇ギ
 ルダイ也ヲ限戻トスル臨時軍事費特別會計ヨリノ借用金ノ受領ヲ委
 任候

昭和 年 月 日

南方開發金庫

總裁 佐々木 謙一郎

某部隊出納官吏

某 殿

備 用 金 庫

一 南方外貨表示軍用手票金七百四拾五萬ベソ也

一 南方外貨表示軍用手票金壹千七百七拾五萬海峽弗也

一 南方外貨表示軍用手票金壹千九百五拾五萬ギルダ也

（右ハ何レモ新都合ニ依リ一部現地通貨ヲ以テ交付セラル、モ差支無之候）

右金額ヲ限度トシテ令般臨時軍事費特別會計ヨリ左記條件ヲ以テ備用仕候就而借入條件ヲ堅ク遵守ノ上元利金ハ期日迄ニ相違無ク支拂可致候也

記

一 備 用 金 ノ 使 途
南方地域ニ於ケル物資買付資金融通資金トシテ

橫濱正金銀行又ハ株式會社臺灣銀行ニ轉貸

一 利 息
年三分五厘ノ割合ニ依リ元金全部償還ノ際ニ取

經テ支拂フモノトス

一、期 限

昭和十八年三月三十一日
但期限前ト雖モ全部又ハ一部ノ辨済ヲ爲ス事ヲ
得

一、借用金受渡ノ時期
及利息起算日

本借用金ハ必要ニ應シ分割借受クルモノトシ利
息ハ借入ノ翌日ヨリ償還期日迄之ヲ附スモノト
ス

一、借用金ノ受渡

分任資金前渡官吏ノ所在地ニ於テ該官吏ヨリ交
付ヲ受クルモノトス

一、借用金元利金
ノ 支 拂

分任收入官吏ノ所在地ニ於テ該官吏ニ納付スル
モノトス

昭和十七年五月三十日

南方開發金庫

總 裁 佐々木 謙一郎

陸軍大臣 東 條 英 機 殿